



さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

2025 (令和7年) 4



1月12日 出初式 盛大に挙行了しました

新年度となりました。市民の皆様におかれましては、日頃より消防団活動に對し、誠にありがとうございます。二月末より全国各地で大規模な山林火災が発生し、建物火災も毎日のように報道されています。原因は様々ですが、乾燥や強風など被害が大きくなりやすい状況が続いています。

消防団としましては、春の火災予防運動を通して、消防本部・消防署との連携を深め、訓練や予防広報に努めています。ラッパ吹奏やドローン使用で大きな音を出すことがあります。ご理解をよろしくお願いいたします。

大規模災害に備えるためには、人口が減少傾向にある中であつても、多くの人員が必要となります。地域防災の役割を果たすため、更なる団員の確保にご協力をお願い申し上げます。



須坂市消防団長 関 延之



須坂市消防長 山岸 良浩

日頃から、消防団をはじめ消防業務に對し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

須坂市消防団(六百十五人・4月1日現在)は、大雨や台風などで地域の皆様が困っているときに、真っ先に駆けつけ、活動いただいている非常には大切な組織です。

市では、須坂市消防団サポート事業として、地域・事業所の皆様のご理解とご協力をいただき、消防団員への応援をお願いしております。サポート事業所に登録いただきますようお願いいたします。

また、消防団は、年齢構成・職業など様々で、幅広いネットワークと、お付き合いの広がりも特徴です。お待ちしています。



先日、知人から、「自宅の給湯器(？だったと思います)が故障し困っていたときに、消防団の友人に相談したところ、さらに消防団のお仲間を紹介していただき、とても親切で誠実な対応をいただきました。」とお聞きし、団員同士の交流が深くていいなと思いました。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時ににおける消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、『大切な家族や地域を守りたい』そんな思いで活動している人間の集まりです。

須坂市消防団長 関 延之

就任の挨拶



本部副喇叭長
駒津 貴寛

令和七年一月より本部副喇叭長を拝命いたしました駒津貴寛と申します。

入団してから七年間は喇叭手として活動し、大会やパレード、イベントなどに参加してきました。

令和三年、四年は第十一分団長を仰せつかっておりました。

消防団は有事の際の活動はもちろんですが、予防消防や啓発活動にも重点を置き、出来る限り災害を未然に防がなくてはと思っています。

市民の皆様には日頃より消防団活動に対しましてご支援ご協力を賜りまして誠に有難うございます。

今後ともよろしくお願いいたします。



定期演奏会のお礼



須坂市消防団音楽隊長
山岸 雅哉

市制施行70周年記念、音楽隊結成40周年記念として開催いたしました、第40回須坂市消防団音楽隊の定期演奏会に多くの市民の皆様をはじめ関係団体の皆様のご来場、また、株式会社G o l i g h t様ご協力による生中継、インターネット配信をご視聴いただき誠にありがとうございました。

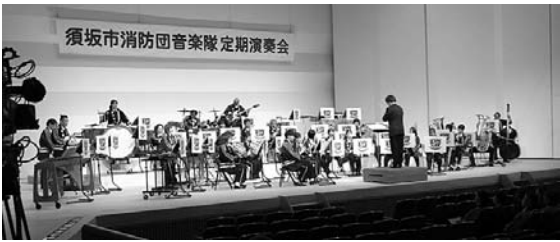
音楽隊の定期演奏会は例年チャリティーにて開催しており、皆様からの心のこもった寄付金は、能登復興に役立てていただけるよう須坂市を通じて石川県共同募金会に寄付させていただきました。改めて御礼申し上げます。

今年も皆様に楽しんでいただけるよう、おなじみのポピュラーソングをはじめ、吹奏楽の醍醐味を存分にお楽しみいただける曲目をそろえ毎週訓練に励んでおります。

第41回定期演奏会は11月9日の開催を予定しております。多くの皆様のご来場、ご視聴を心よりお待ちしております。

第40回 消防団音楽隊定期演奏会 &消防フェスタ

(開催場所 ヌセナホール)



須坂市消防団管轄区域 第5分団 1部 高畑町、旭ヶ丘町、北旭ヶ丘町、松川町、光ヶ丘ニュータウン 2部 南小河原町、小河原町、新田町 3部 小島町、豊島町 4部 相之島町、北相之島町 第6分団 1部 高梨町、五閑町 2部 塩川町 3部 沼目町 4部 八重森町 5部 村山町 第7分団 1部 井上町 2部 福島町 3部 中島町 4部 九反田町 5部 幸高町 6部 米持町

消防団員の声



第7分団 6部団員
中岡 雅博

消防団に入団して、2年がたちます。私は県外の出身ということで、周りには知り合いもいないことから、地域のコミュニティに参加したいと思ったことと、この町で暮らす中で、地域住民の安心安全のために貢献したいと考えたことから入団を決意しました。

消防団の活動は、日々の訓練はもちろんですが、住民の皆様と一緒に防災の意識を高めていくことも重要な役割だと思っています。消防団の活動を通して、この町で暮らす皆さんとコミュニケーションの取り、防災意識の高い町づくりに貢献していきたいと思っています。



第6分団 分団部長
下川 祐樹

昨今では地震、水害などの自然災害が頻りに報道されておられるかと思いますが、災害はいつどこで発生するかわからない状況です。また、地域によって復旧も中々進まない状況にたまたま進んでいるものもありません。そういった中で、防災に對して備えること、防犯に對する使命であり、自衛隊の活動は自分たちで守るべきものと考えはより大切なものと感じるようになりました。

地域防災の一環である消防団の活動について、早朝の訓練や夜間の半鐘の打鐘など、また地域の有事の際には現場での活動をする必要があり、自分の仕事や都合がある中で時間を作る必要が出てくるため大変な部分があります。仲間とともに地域を守る一員であることに誇りを持つて活動していると私は入団して今年で六年目になり、今年から分団部長として活動させて頂きますが、地域の皆様や職場の理解、仲間や家族のご協力に感謝の気持ちを持っていききたいと思っています。



写真で見る消防団活動 1月～3月

▲須坂市消防出初式（1月12日）



▲火災防ぎょ訓練（3月3日）
実践に近い訓練を署と合同で行いました
担当 第10分団



▲通常点検（3月3日） 第11分団・音楽隊

